

少子高齢化イメージの転換

アクティブシニアに活躍の場を

日本において、地域の活力が衰退する要因として「少子化」、「高齢化」、「人口減少」が指摘されている。しかし、実際に地域で活躍している世代をとらえて推計してみると違った一面が見えてくる。

「少子化」「高齢化」「人口減少」

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によれば、2040年の全国の人口は約1億700万人に減少し年齢三区分の割合は、年少人口(0~14歳)10.0%、生産年齢人口(15~64歳)53.9%とそれぞれ減少する一方、老年人口(65歳以上)は36.1%に急増する見通しとなっている。沖縄県においても、全国平均ほどではないものの、人口は若干減少する。若年人口、生産年齢人口の割合は減少し、老年人口の割合が上昇する(図表の「年齢区分①」を参照)。

政府は2014年度、人口減少に歯止めをかけ2060年に1億人程度の人口を確保することを目指すとした「長期ビジョン」、ならびにビジョン実現に向けた5カ年間の取り組みを整理した「総合戦略」をそれぞれ策定している。「長期ビジョン」、「総合戦略」はすべての自治体が2015年度中に策定するよう求められている。何も手を打たなければ多くの自治体において、「少子化」、「高齢化」、「人口減少」が続くのは間違いない。

実態にそぐわない年齢三区分

ただ、現在の高齢化の進展度を判断する年齢三区分は実態に即してない面もある。実態に即した年齢区分で推計を行うことで、具体的な取りうる施策の重点も変わってくると考えられる。

現代社会において15~19歳の多くは学生である。学校基本調査において、県内の2015年3月の中学卒業者のうち就職した者は125人で全体の0.8%に過ぎない。同じく

高校を卒業した者のうち就職は2378人で16.2%となっている。沖縄県が発表している労働力調査において、15~19歳の労働力人口は1万1000人であり、県全体の労働力人口(70万人)における割合は1.6%。ほとんどがまだ社会から「支えられる側」なのだ。したがって、実態からは15~19歳を生産年齢人口と解釈するのは難しい。

一方、老年人口も65歳からと定義されているが、健康で長生きできるようになった現代においては、元気な方々も多く、さまざまなことに意欲的な、いわゆるアクティブシニア層が増大している。県内の65歳以上の労働力人口も4万6000人おり、全労働力人口の6.6%を占める。

高齢者問題として、「年金」や「介護」といった点がクローズアップされることが多いが、老年人口を「前期高齢者」(65~74歳)と「後期高齢者」(75歳以上)に分けるのであれば、「介護」の問題は主に「後期高齢者」の問題であり、「年金」の問題は「前期高齢者」の時から生じる問題だと腑分けをすることができる(広井良典『持続可能な福祉社会』参照)。

身体的な面に着目するのであれば、「介護」される状況にならなければ老年人口の方々でも社会的にも十分活躍できるはずだ。

そこで、地域の担い手について実態の面から把握するために、学生や高齢者を配慮した推計を実施した。年少人口を0~19歳、生産年齢人口を20~74歳、老年人口を75歳以上と区分して推計したのが図表の「年齢区分②」となる。

現役世代が増加

「年齢区分②」の推計を見ると明らかなように「年齢区分

①」の推計と比較すると現役世代、つまり生産年齢人口の割合が増大していることがわかる。「年齢区分①」の推計では2040年に老年人口(65歳以上)の割合が30%を超える自治体が29あったものの、「年齢区分②」の推計では2自治体まで減少している。また、働き手である生産年齢人口100人が年少者と高齢者を何人支えているかを示す指数である従属人口指数も、「年齢区分①」推計では、離島や北部地域で100を超える自治体もあったものの、「年齢区分②」推計ではゼロとなり、80を超えるものも3自治体にとどまっているのだ。

少子高齢化と人口減少により、地域の衰退を憂慮している方々は多いと思われるが、まだ気力や体力が十分なシニア層にも活躍してもらうことで、地域の活性化は可能だ。

もちろん長期的な地域の将来を考える上で、人口を維

持、増加させていくためには出生率を向上させていくことは必要不可欠であり、出産、子育て支援対策を充実させていくことは当然だ。しかし、体力・気力もある60代、70代も多い。65歳ですぐに老年となり「支えられる側」になるわけではない。今後の地域社会の将来像を考える上では、このような気力、体力もある方々が活躍できる場、生きがいを感じられる場を作ることが重要なのだ。

実態に即した年齢区分を参考にすることで、地域の将来イメージは大きく異なってくる。各自治体においては、次年度以降、「地方創生」に向けた取り組みが活発化してくると想定される。その中において、少子化対策の他にアクティブシニア層の活躍の場の構築も検討してはいかがだろうか。

(海邦総研地域経済調査部研究員／島田尚徳)

※文中の年齢区分②の考え方については、大森彌「非現実的な年齢区分のとり方」(全国町村会HP上コラム)、広井良典「持続可能な福祉社会(ちくま新書、2006年)を参考にした

図表:県内市町村の将来推計人口割合(年齢三区分別) ※2010年は実数、2040年は推計 (出所)国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」より作成

自治体名	年	総人口(人)	年齢区分①				年齢区分②				自治体名	年	総人口(人)	年齢区分①				年齢区分②			
			0~14歳(%)	15~64歳(%)	65歳以上(%)	従属人口指数	0~19歳(%)	20~74歳(%)	75歳以上(%)	従属人口指数				0~14歳(%)	15~64歳(%)	65歳以上(%)	従属人口指数	0~19歳(%)	20~74歳(%)	75歳以上(%)	従属人口指数
全国平均	2010	128,057,352	13.1	63.8	23.0	56.7	17.9	71.0	11.1	40.8	沖縄県	2010	1,392,818	17.7	64.9	17.4	54.1	23.7	67.6	8.7	47.9
	2040	107,275,850	10.0	53.9	36.1	85.4	13.7	65.6	20.7	52.4		2040	1,369,408	13.9	55.7	30.3	79.4	18.6	63.9	17.5	56.5
那覇市	2010	315,954	16.3	65.8	17.9	52.0	22.0	69.4	8.6	44.2	嘉手納町	2010	13,827	17.4	61.7	21.0	62.2	23.9	64.7	11.4	54.6
	2040	290,800	12.5	56.0	31.5	78.5	17.0	65.8	17.2	52.0		2040	12,994	13.9	55.6	30.5	79.9	18.6	62.9	18.6	59.1
宜野湾市	2010	91,928	18.0	67.1	14.9	49.1	24.2	69.1	6.7	44.7	北谷町	2010	27,264	18.5	65.4	16.1	52.9	25.0	67.4	7.6	48.3
	2040	91,681	13.8	57.8	28.3	72.9	18.5	66.1	15.3	51.2		2040	26,537	12.8	56.2	31.0	78.0	17.1	65.1	17.7	53.5
石垣市	2010	46,922	18.4	64.5	17.1	55.0	23.5	67.3	9.2	48.6	北中城村	2010	15,951	17.5	62.3	20.2	60.4	23.1	66.3	10.6	50.8
	2040	48,171	15.0	54.7	30.4	82.9	19.6	62.8	17.6	59.3		2040	15,155	12.3	50.6	37.1	97.6	16.3	59.4	24.3	68.4
浦添市	2010	110,351	19.3	66.2	14.5	51.0	25.4	68.2	6.4	46.6	中城村	2010	17,680	16.4	66.9	16.6	49.4	22.7	68.3	9.0	46.4
	2040	116,075	14.6	56.2	29.2	78.0	19.4	64.4	16.2	55.2		2040	18,872	13.2	56.3	30.5	77.5	17.9	64.1	18.1	56.1
名護市	2010	60,231	17.3	65.1	17.6	53.6	24.3	66.6	9.2	50.2	西原町	2010	34,766	18.0	67.9	14.0	47.2	25.2	68.6	6.2	45.7
	2040	58,415	13.9	54.9	31.2	82.0	18.9	61.9	19.2	61.5		2040	35,967	13.5	56.7	29.8	76.4	18.3	64.0	17.7	56.3
糸満市	2010	57,320	18.7	64.7	16.5	54.5	25.1	66.6	8.4	50.2	与那原町	2010	16,318	18.6	64.6	16.8	54.7	24.8	66.9	8.3	49.4
	2040	58,518	15.2	56.4	28.3	77.3	20.2	62.9	16.9	59.0		2040	16,698	15.6	56.1	28.3	78.1	20.7	62.6	16.7	59.7
沖縄市	2010	130,249	19.1	65.4	15.5	53.0	25.5	67.1	7.3	48.9	南風原町	2010	35,244	19.6	65.5	14.9	52.6	25.8	67.3	6.9	48.7
	2040	131,709	14.2	57.7	28.2	73.5	18.9	66.0	15.1	51.4		2040	39,726	16.6	56.6	26.8	76.6	21.9	62.3	15.8	60.6
豊見城市	2010	57,261	20.0	65.6	14.4	52.5	25.9	67.5	6.6	48.1	渡嘉敷村	2010	760	16.8	63.9	19.2	56.4	18.4	69.6	12.0	43.7
	2040	70,859	16.2	56.8	27.0	76.0	21.4	63.2	15.4	58.1		2040	627	13.4	58.4	28.2	71.3	16.6	66.0	17.4	51.4
うるま市	2010	116,979	18.1	64.4	17.5	55.3	24.4	66.7	8.9	49.9	座間味村	2010	865	17.5	59.3	23.2	68.6	18.4	66.4	15.3	50.7
	2040	118,608	14.4	56.6	29.1	76.8	19.1	63.7	17.2	57.0		2040	794	14.6	51.5	33.9	94.1	17.3	64.9	17.9	54.2
宮古島市	2010	52,039	16.7	60.1	23.2	66.4	21.7	64.6	13.7	54.8	粟国村	2010	863	13.7	52.6	33.7	90.1	16.2	60.5	23.3	65.3
	2040	42,209	13.8	51.0	35.2	96.2	18.1	59.3	22.6	68.7		2040	726	15.8	47.8	36.4	109.2	19.1	56.5	24.4	77.1
南城市	2010	39,758	16.2	62.6	21.2	59.8	22.5	66.7	10.8	49.9	渡名喜村	2010	452	7.7	58.8	33.4	69.9	11.7	67.7	20.6	47.7
	2040	35,803	12.7	51.1	36.1	95.6	17.2	59.6	23.2	67.9		2040	337	11.6	53.1	35.3	88.3	13.6	61.1	25.2	63.6
国頭村	2010	5,188	13.4	59.0	27.5	69.4	18.5	63.9	17.6	56.5	南大東村	2010	1,442	16.4	62.7	20.9	59.5	18.5	71.2	10.3	40.5
	2040	3,610	11.0	46.7	42.3	114.2	14.7	55.9	29.4	78.9		2040	1,217	15.9	53.1	31.0	88.4	19.1	62.6	18.3	59.7
大宜味村	2010	3,221	11.2	58.0	30.8	72.5	16.4	63.1	20.5	58.4	北大東村	2010	665	16.4	68.0	15.6	47.1	17.4	75.8	6.2	31.2
	2040	2,202	9.1	45.2	45.7	121.1	12.4	53.7	33.8	86.1		2040	530	12.8	49.2	37.9	103.1	15.1	62.8	22.1	59.2
東村	2010	1,794	13.8	60.4	25.9	65.7	18.8	65.4	15.8	52.9	伊平屋村	2010	1,385	18.6	56.1	25.3	78.2	23.5	60.1	16.1	65.8
	2040	1,276	10.7	48.1	41.1	107.8	14.1	58.9	27.0	69.7		2040	1,134	18.3	51.1	30.5	95.5	22.5	57.1	20.5	75.3
今帰仁村	2010	9,257	14.9	58.6	26.5	70.6	20.9	62.4	16.7	60.2	伊是名村	2010	1,589	16.6	54.8	28.6	82.4	18.7	61.9	19.4	61.5
	2040	7,719	12.3	48.3	39.4	107.1	16.7	55.5	27.8	80.3		2040	1,208	15.7	47.4	36.9	111.2	19.0	57.1	23.8	75.1
本部町	2010	13,870	13.5	61.9	24.6	61.6	18.8	66.0	15.2	51.5	久米島町	2010	8,519	16.1	58.7	25.2	70.5	20.5	63.6	15.9	57.2
	2040	10,818	11.0	50.6	38.4	97.8	14.9	58.1	27.0	72.1		2040	5,832	11.8	46.0	42.2	117.2	15.5	55.9	28.6	78.9
恩納村	2010	10,144	15.1	65.0	20.0	53.9	20.2	68.4	11.4	46.2	八重瀬町	2010	26,681	17.7	64.7	17.6	54.7	24.6	66.3	9.1	50.9
	2040	10,293	12.2	56.0	31.9	78.7	16.3	64.4	19.2	55.2		2040	29,425	14.8	56.6	28.6	76.8	19.9	62.7	17.5	59.5
宜野座村	2010	5,331	18.9	60.0	21.1	66.8	24.4	63.5	12.1	57.5	多良間村	2010	1,231	21.8	52.1	26.2	92.0	22.8	63.9	13.2	56.4
	2040	5,884	17.8	53.9	28.3	85.6	23.3	59.9	16.8	67.0		2040	927	18.0	48.9	33.1	104.6	21.4	57.8	20.8	72.9
金武町	2010	11,066	17.0	59.9	23.1	66.9	22.1	66.0	11.8	51.4	竹富町	2010	3,859	15.6	63.8	20.7	56.8	16.4	70.7	13.0	41.5
	2040	11,372	14.9	54.3	30.8	84.2	19.7	61.6	18.7	62.3		2040	2,746	10.9	45.7	43.4	118.6	13.7	58.4	27.9	71.2
伊江村	2010	4,737	14.0	59.3	26.7	68.6	18.2	66.7	15.1	49.9	与那国町	2010	1,657	18.2	62.4	19.5	60.3	19.4	69.0	11.7	45.2
	2040	3,245	9.5	43.1	47.4	132.3	12.7	53.2	34.2	88.1		2040	1,277	14.6	52.7	32.7	89.7	17.7	63.2	19.1	58.2
読谷村	2010	38,200	18.9	64.4	16.7	55.2	25.4	66.6	8.0	50.2	※従属人口指数:生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の計の比率(年少+老年/生産年齢×100)										
	2040	37,412	13.7	56.1	30.2	78.3	18.3	64.8	16.9	54.3	※年齢区分①では年少人口を0~14歳、生産年齢人口を15~64歳、老年人口を65歳以上として計算 ※年齢区分②では年少人口を0~19歳、生産年齢人口を20~74歳、老年人口を75歳以上として計算										